



ウォーキングマップ&コースについて

歩くだけではわからない
コース内の見どころを
解説します。



！注意 CAUTION！

川岸のコースは天候によって歩くことが危険な場合があります。増水や土砂災害の危険があるので「台風や大雨の後は「ウォーキング」を控えて下さい。

長ぐらがある便利

立梅用水井堰

1921年完成の四代目の取水堰。つり橋や道の駅から見る堰堤は水面に空や景色が写り込み絶景です。川の水位が低くなる秋～冬の期間には堰の石積みが見えます。



岩の景観

川沿いの巨大な岩は川の流れて長い時間をかけて作った自然の彫刻です。季節によって川の水量が変わるためそれに合わせて川岸の岩の雰囲気も変わります。



お茶畑

集落の近くに広がる広大な茶畑。つみどり時期には大型の機械が活躍する風景を見ることが出来るかも。時期の目安
新茶…5月上旬・二番茶…7月上旬
秋番茶…10月上旬



人が入って作業しやすい手刈りの畑
平場で通路が狭い機械刈りの畑

用水のトンネル跡

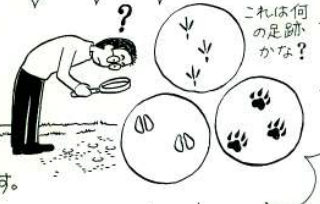
コース内にあるトンネル跡は立梅用水の水路が通っていた場所です。よく観察しながら歩く石積みや壁面など水路の跡が残っている場所がたくさんみつかります。



じつは全部手掘り

里山の自然

アジシと呼ばれる里山は広葉樹が多く四季折々の色の移り変わりが楽しめます。春はユキヤナギ、カワツツジなどの花々、秋はどんぐりなどの木の実、動物の足跡も見られます。探してみよう！



これは何の足跡かな？

飯南はお茶の産地

「すば谷」と呼ばれる山に囲まれた地形と、清流柳田川から発生する朝霧のおかげで日照時間が調整され、うまみが多く渋みの少ない美味しいお茶ができていきます。近年はお茶の消費量の減少の影響を受け、放棄される茶畑も増えてきました。地域の景観を守るためにもかんばっています。



飲んでみよう。深蒸し煎茶

水が美味しくない地域でも、お茶が美味しく飲めるよう工夫をこらしたこの地域独特の製法が「深蒸し」。普通のお茶より長い時間をかけて蒸し上げます。お茶葉は細くなりますが、渋みが少なく、旨みのある濃厚な味が特徴です。

★ウォーキングのお供に！美味しいお茶を入れるコツ★

＜温かいお茶＞70～80℃位に冷ましたお湯を静かに急須に注ぎ待つこと30～60秒最後の一滴まで注ぎ切る。

＜冷たいお茶＞アイスボックにティーバッグを入れ、ティーバッグが沈むまで氷を注ぎ「マドラー」などで30～60秒位ぐるぐるとかき混ぜ「お茶の香り」が立ってきたら氷はいよいよ注いで完成。あとは冷蔵庫で冷やしたり氷を入れてクラッシュで飲む。



お茶の種類により温度、時間はやや異なります

冷茶にするとき味や風味が抜けないように注意

完成後も急須は湯気がたまってOK

お茶は日持ちしないので、作った日のうちに飲む方がおいしい

立梅用水の歴史

立梅用水は飯南町粥見の立梅地区の井堰から多気町の丹生地区まで全長約30kmの農業用水路です。用水が完成したのは江戸時代。県内でも有数の一大公共工事として記録されています。ノミを使って手掘りで岩場を削り進める作業は困難を極めたそう。地元の有力者達は「岩一升削れば米一升を与える」と作業者を励ましたという逸話が残っています。



年表で振り返る立梅用水

- 1808 用水開設を発案
西村彦左衛門らの熱心な嘆願活動が行われる
- 1820 ついに着工！
- 1823 3年の大工事の末完成
その後も大水で堰が何度も流出、修理される
- 1919 台風により三代目の堰が全壊流出
- 1921 四代目の堰完成（現在の堰）
その後も水路コンクリート化などの整備が随時行われる
- 1993 あじさいいっぱい運動開始
用水沿いにあじさい三万本が植えられる
- 1997 大師の里彦左衛門のあじさいまつりスタート
- 2014年 「国登録記念物」および「世界かんがし施設遺産」に登録される！

周辺の 見どころ おみやげ



粥見井尻遺跡

日本最古の土偶が発見された縄文時代の遺跡です。敷地内に、竪穴式住居が再現されています。



道の駅茶倉駅

お茶やしいけなどの地元の特産品や産直野菜の他、手作りの手芸品なども販売しています。



飯南町粥見452-1
電話 0598-32-2555
営9:00～18:00(11～2月は17:00)
火曜休(祝祭日は翌日)

茶業伝承館

お茶のことを学ぶならこの施設。昔ながらのお茶に関する道具が展示されています。



飯南町粥見1125-1
電話 0598-32-4713
営10:00～15:00
休館日 土日・祝日及び年末年始

粥見神社

千年以上の歴史を持つ神社。春と秋には「てんてん」という祭りがあり、天狗や獅子の舞が行われます。市の無形文化財に指定されています。



深緑茶房

美味しいお茶とその飲み方を教えてくれる癒しのお店。カフェスペースもあり。お茶を使った和菓子などメニューも豊富。持ち帰りもできます。



飯南町粥見4209-2
電話 0598-32-5588
営9:00～17:30(カフェは10:00～16:00)
定休日 水曜

リバーサイド茶倉

ウォーキングのスタート地点はここ！芝生広場があり年間を通して様々なイベントも行われています。道の駅茶倉駅からつり橋を渡って行くこともできます。



飯南町粥見1084-1
電話 0598-32-3223
営9:00～17:30
定休日 火曜
年末年始

烏岳・富士ヶ原

登山の好きな方はこちら！烏岳は約1時間、富士ヶ原は約40分で行くことができます。展望台からの景色がおすすめです。



飯南町烏岳からは冬、登山靴が見えます！

甲子軒

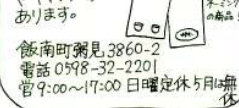
山里らしい和菓子が並ぶ地元の老舗。ときどき餅など季節限定のものもあります。道の駅茶倉駅でも買うことができます。



飯南町粥見2486
電話 0598-32-2272
営7:00～18:00 火曜・祝日休

茶来まっさか

品質・収量の安定確保を目指す土壌や気温、茶葉の糖度分析などを測定・管理しながらお茶の栽培と販売を行っています。店内には鹿かの毛和グッズやギャザーカーがあります。



飯南町粥見3860-2
電話 0598-32-2201
営9:00～17:00 日曜定休日・無休

地元の方に聞きました 地域のおもてなし

この山はよく台風の被害を受けてなあ、伊勢湾台風の際は橋が壊れても街に出でんか大変やった。

今では少なくなりましたが、昔は川でよけ魚を釣ったなあ。1日に100匹釣れたこともあったんや。

自然あそびじゃく「わらべの里」をやったのは、体験を通して子供たちに飯南の自然にふれ合ってもらいたい。

粥見には12月の山の神にイワシの押し寿司を作る風習があつた。女の人が正月くらいはゆっくりできるように昔はよけ作つたよ。

一生懸命おいしいお茶を作っても、最良は売れんので。ペルボトルもええけど、たまには急須で、お茶を入れて飲んで欲しいなあ。

こはん一斗炊いたこともあったなあ…